



祇園祭 (7月最終週の木曜日から4日間)

玉のような汗を飛ばす男衆の大神輿。
若き女性の肩にゆられる姫神輿。
筑西最大の夏の風物詩「祇園まつり」の
迫力とエネルギーは圧巻です。



今 週のプログラム

菊地 敏氏
(米山記念奨学)

次週のプログラム

クラブ協議会



会長/永盛 武 副会長/加藤昌美 幹事/中里泰久 会長エレクト/永井啓一
クラブ会報・広報・雑誌・記録委員会 委員長/神山芳子 副委員長/菊池祥明・木幡 浩・堀江 勤

例会 毎週水曜日 12:30 ダイヤモンドホール(〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1053-4 ☎0296-28-8511)
ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール shimodate@ri2820.jp



前例会報告 第2812回 2017/11/8(水)

お 客 様 ようこそ下館RCへ

上野 怜 様(前筑西市教育長)
市村 千華 さん(関城中学校3年)

会長挨拶 永盛 武会長

今日は、初めに仙台ロータリークラブへの訪問について報告をさせていただきます。

仙台市内には現在11クラブが有り、更に1クラブ出来るそうです。流石人口100万人都市です。仙台クラブの会員数は118名でした。

何故この日(10月3日)を選んだかと言えば、ネットで調べたところ例会の内容が「交流会」と有りましたので、心が動いたのであります。交流会は年3回~4回程度だそうです。会場は仙台駅前のメトロポリタンホテル仙台で、会場へ入るとまっすぐお点前の接待を受けました。BGMはピアノ生演奏、当日卓話は無く、各委員会の報告が主で、その中でも流石と思いましたが社会奉仕と職業奉仕委員会共催により仙台市教育委員会を通じて市内の中学校へ会員が出向いて多面的な授業を行っているとのことでした。この日は授業を受けた中学生からのお礼状の紹介が有りました。

また、当クラブのように会長・幹事及び副会長・エレクト等の特別席は設けず、役員も初めから円卓に座り、堅く重い雰囲気はありませんでした。驚いたことに次回日韓交流会議がご当地で行われることを会長自身が知りませんでした。仙台RCはむしろ、日台交流に重点を置いている様子でした。

残念なことに(突然の訪問だったためか)委員会などの報告が長く、筑西市をPRする時間を長く取れませんでした。次回は事前予約で筑西市のPRをしっかりしたいと思います。尚、バナーの交換をして参りました。

高梁ロータリークラブへの訪問は、45周年当日益子の美里学園20周年記念パーティーのアトラクション出演日と重なり、出演は昨年からの約束でもあり、前倒しで行って参りました。

10日、家内共々、12時32分高梁駅に着きま

すと河本正夫会長、訪問計画の段階からお世話様に成ってありました小見山豊様そして山田方谷の玄孫であり、高梁市観光協会常務理事山田敦様に出迎えて頂き、小見山様と山田様に市内の資料館等の案内を、更に小見山様には山田方谷先生生誕の地とゆかりの地を案内して頂きました。墓所では小見山様が生花とお線香を用意して頂き、お墓参りをさせて頂きました。小見山様のお心使いには、私等到底及ばないものがありました。その夜は、私たちの歓迎会ということで河本会長はじめ小見山様、那須正道様、八代義弘様、柴倉清様、梅田恭正様たちが宴をもようして頂き、盛沢山の料理と地酒や河本会長持参のワインで歓待を受けました。

明けて翌日は8時から雲海の高松城をみるべく、小見山様、那須様の案内で展望台へと向かったのですが生憎霧が晴れずほんの僅かしか城は見えませんでした。その後、定林寺に案内をいただき水谷公を墓参、境内には平成24年11月18日、下館RCの先輩たちが植樹をされたという桜の木が有り、写真に収めて参りました。更に映画「男はつらいよ」のロケ地である薬師院、小堀遠州作の庭園のある頼久寺に行き、ここでは名庭園を観ながら小見山様ご自身によるお点前をいただきました。尚、ここのご住職生田裕道様は会長エレクトであるとのことでした。

午後は例会に出席、ご挨拶もさせていただきました。例会で気づいたことは、心を込めて「奉仕の理想」を皆さんが歌っていることでした。高梁RCの皆さまの気概を感じた次第です。

例会終了後河本会長に駅まで送って頂き、再会を期し、帰路の途に就きました。

初めての高梁、そこには皆さんの人情と緩やかな時の流れを感じ、いずれゆっくりと訪れてみたい衝動に駆られました。

さて、今日は先に行われた第24回筑西市少年の主張大会において見事下館ロータリー会長賞を受賞されました関城中学校3年生市村千華さんの「言葉の力」というテーマの話を伺いたいと思います。平日で授業中我々のために時間を割いていただき誠にありがとうございます。

一日一言 「静 和」 安岡正篤著

人物・人間も、呼吸も同じことであって、人間もいろいろの人格内容・精神内容が深い統一・



調和を保つようになるに従って、どこかしつとりと落ち着いてくる。柔らかい中に確りとしたものがあって静和になる。そういう統一・調和が失われてくると鼻息が荒くなるように、人間そのものが荒くなる。ガサガサしてくる。こういうことは決してない。物につまずいてひっくり返るなんて、これは迂闊のいたすところだ。修行未熟のいたすところだ。だからそういう時には、「しまった。おれもうっかりしておった」と自ら反る。それが本当の人間である。その人は確かな人であり進歩する人だ。そこから非常に変わってくる。

理事会報告 中里泰久幹事

- 1月プログラムの承認
- クリスマス例会・予算・プログラムの承認
- だるま市ポリオ街頭募金活動の承認
- 会長ノミニー岩崎会員の承認
- 次年度幹事潮田会員の承認

幹事報告 中里泰久幹事

- 11月4日の会長・幹事会において正月の3RC合同新年会が決定しました。
1月9日(火)PM6:30 ホテルニューつたや
- 公式訪問の記念写真を皆さんのBOXに入れておきました。
- 武井会員よりお見舞いのお礼のメールが届いております。手術の結果も良好ですが、自宅療養中で現在のところロータリー復帰はしばらくかかるとのこと。一日も早い回復を御祈念申し上げます。

親睦活動委員会 百目鬼博行委員長

第196回下館RC新春ゴルフコンペへのご案内

- 日時 平成30年1月6日(土)
- 集合 AM8:00 スタート AM8:35
- 場所 下館ゴルフ倶楽部 参加費 2,000円
- ※ 切 12月6日(12月第1例会迄)

青少年奉仕委員会 島田茂委員長

9月13日に下館北中学校で開催された第24回筑西市少年の主張大会にて、下館ロータリークラブ会長賞を受賞されました関城中学校の市村千華さんを本日お招きしました。その時の「言

葉の力」が大変素晴らしい発表でしたので、本日ここで再度、ご披露していただきます。給食の時間を割いて来てくださってありがとうございます。宜しくお願いします。



市村千華さん(関城中学校3年)

言葉は人に元気を与えたり、勇気を与えることもでき、物を動かす力とは違った大きな力があります。20年の東京オリンピックには間に合いませんが、私は通訳者になって世界の人々のお役に立ちたいという夢を持っているということでした。是非一日も早く夢が叶う日の来ることを御祈念致しております。

卓話 上野 怜氏

二宮尊徳が生きた時代とは

二宮尊徳の生きた時代は富士山・浅間山の噴火から幾度ももの大飢饉・困窮・外国からの来襲の時代であり、大震災・温暖化によるものか。ゲリラ豪雨、大きな台風の上陸、近隣諸国の動向等、今の時代と重なるものがあるように思え、見直すのもいいかと思われま。





西暦	年号	年齢	尊徳略歴	政治	外交	経済	社会生活
1787	天明 7	1	7月23日(太陽暦9月4日)生誕	松平定信、老中筆頭	ロシア人千島に来る	米価高騰	天明の大飢饉(1783~88)
1821	文政 4	★35	34歳、岡田波子娶る。嫡男(11代・徳川家斉) 弥太郎誕生。下野(桜町)領調査	11代将軍家斉(1786~1837) 文化文政時代(1804~1829)		桜町(1000俵あまり)	百姓衣服次第に贅沢に
1822	文政 5	36	小田原藩主(大久保忠真) 二宮尊徳登用・桜町仕法始	・貝原益軒「大和俗訓」(1708年著)購入 ・「女大学」購入・「大和本草」(1709年著)?		◎貨幣改鑄(幕府の益金)	全国人口調査 西国にコレラ流行
1823	文政 6	★37	稲山の家、田畑売却し、桜町へ ※「一家を廃して万家を興す」		シーボルト来朝(鳴滝塾)	◎二朱銀・一朱金	紀伊一揆
1824	文政 7	38	長女ふみ誕生	長英 シーボルトと交流	イギリス捕鯨船常陸		・酒匂川洪水
1825	文政 8	●39	「もみ洗ふ布のためにも洗たくの。」	異国船打払令	大津港へ上陸		関東地方凶作
1826	文政 9	40	組徒<<みかち>>格に昇格			綿栽培(砂堆積地帯)	伊予に逃散起る
1827	文政10	41	豊田正作赴任、障碍多し	将軍家斉、太政大臣に	イギリス船、小笠原	道義心に欠け、「道に過ち多し」	
1828	文政11	●42	「本はみなたれも晒の白木綿・・・」	日本地図・国外持出禁止	シーボルト事件		全国人口(2720万人)
1829	文政12	◎43	成田山新勝寺で断食(21日間)	松平定信死去(72)	シーボルト日本去る		江戸大火
1830	天保元	44	大久保忠真、日光東照宮修復受く	水戸斉昭藩政改革		桜町(1874俵)	伊勢お陰参り流行
1831	天保 2	★45	桜町たて直し成功 忠真公日光へ参拝、帰途結城に寄る		イギリス船東蝦夷地	桜町(1874俵)	周防長門一揆
1832	天保 3	★46	青木村たて直しを始める・「打つ心あれば、打たる世の中よ 打たぬ心の桜町。貢租を免除 無利息報徳金融の創始			桜町(1894俵)	全国大飢饉が続く 鼠小僧次郎吉、処刑
1833	天保 4	※47	茄子の味いつもと違うことから 農民に凶作を知らせる	く貝原益軒「大和俗訓」にヒト)? 貢納米、畑物成金を全額免除		桜町(1326俵)	京都にエライコッチャ 踊り流行、飢饉続く
1834	天保 5	◇48	『三才報徳金毛録』著す	★大久保忠真・老中首座、水野忠邦老中		桜町(1987俵)	民衆の寄席見物抑庄(鳥)
1835	天保 6	49	冬の気象観察より来年の冷夏を察す	◎天保通宝新鑄		桜町(1987俵)	玉露茶創製(山本嘉兵衛)
1836	天保 7	★50	◆下館八代藩主(石川総貨) 尊徳に仕法を依頼(17歳)	水戸斉昭砲台を築く 長英『救荒二物考』	華山・長英らが 国を憂う	桜町(803俵)	諸国に大飢饉起る 天保の大飢饉
1837	天保 8	★51	大久保忠真・現職中歿す(60)	大塩平八郎の乱(兵乱)	アメリカ船モリソン号が 漂流を伴い浦賀入港	桜町(1995俵)	耀甲斐(妖怪とあだ名) (天保3年~9年)
1838	天保 9	★52	徳川斉昭、将軍に内憂外患説く ◆尊徳、下館藩の財政改革を助言す。	『戌戌夢物語』(高野長英) 『西洋事情御答書』(渡辺華山) 幕府批判 水野忠邦・老中首座		日掛網索法	▼「七年かち(飢渴)」 死者・日本全体で (20~30万人)
1839	天保10	53	富田久助入門(27歳) ◆上牧、衣笠、度々訪問す	蜜社の獄(水野・大目付鳥居らによる弾圧) (渡辺華山、高野長英ら投獄する)江川英龍		マニファクチャー生産 (織物・作業分業)	
1840	天保11	★54	小田原付近のいくつかの村 を見分(御殿場村・藤曲村) ・「日々々に積る心のちりあくた洗い流して我をたずねん」	◆下館藩、本格的復興~天保13年 ・「分度・推譲」を強調して説く			
1841	天保12	55	(徳川家斉死去)(71)	水野忠邦・天保改革	中浜万次郎等、アメリカ船に救助さる		株仲間の解散
1842	天保13	56	水野忠邦に頼まれ幕府で働く	天保の緩和令	高島秋帆獄舎	物産専売禁止	倭約令(鳥居南町奉行)
1843	天保14	★57	大生郷(常総市)を見分、真面目に行く ◆下館信友講成立 ◆家老上牧 奉行衣笠、小臣大島、御用達中村らの尽力	水野忠邦失脚 阿部正弘老中主席	山内総左衛門 真岡代官となる	人返しの法 「上知令」 ◆尊徳「富国方法論」(45年)	町人の武芸禁止 市川団十郎江戸追放
1850	嘉永 3	★64	◆花田、谷中、灰塚、榊ヶ島見分海防の勸諭、幕府に下る				国定忠治処刑
1852	嘉永 5	★66	◆復興事業開始 富田高慶が指導(下岡崎・藤)	幕府、各地に砲台築造急ぐ			・徳川慶篤「大日本史
1854	安政元	68	病氣悪化、弥太郎が日光たて直し	日米和親条約、日英日露	ハリ・浦賀来航(53年)		紀伊農民一揆
1856	安政 3	70	10月20日(太陽暦11月17日)死	ハリス下田駐在	◇『報徳記』(富田高慶著)		江戸大地震(55年)

スマイルBOX 岩崎 晴男委員長

上野怜先生、市村千華さん、下館ロータリークラブへようこそいらっしゃいました。

本日の卓話、楽しみにしておりました。宜しくお願ひ申し上げます。(敬称略)

- 永盛 武・中里 泰久・加藤 昌美
- 堀江 勤・永井 啓一・潮田 武彦
- 日向野 陽・小林 一彦・鈴木 光則
- 百目鬼博行・早瀬 浩一・中丸 健
- 新井 利平・外山 壽彦・神山 芳子
- 新井 和雄・島田 茂・馬場 保
- 舘野 博・鈴木 健一・岩崎 晴男

本日の合計 21,000円
累計 481,000円

出席報告 鈴木光則委員長

会員数	出席数	欠席数	病欠	免除
32	22	8	0	2

■メイクアップ (敬称略)

- 10月18日 炉辺会合
- 新井 利平・新井 和雄・馬場 保
 - 百目鬼博行・岩崎 晴男・小林 一彦
 - 永井 啓一・関谷 徹・鈴木 光則
 - 鈴木 健一・島田 茂・瀧田 昌甫
 - 潮田 武彦

11月4日 会長・幹事会

永盛 武・中里 泰久